



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月28日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社

コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 久田宗弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長

(氏名) 鎌田清孝

TEL 03-5764-5214

四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	333,042	△1.7	16,223	△8.8	16,164	△8.5	9,115	24.3
24年2月期第3四半期	338,802	5.6	17,788	50.8	17,670	49.9	7,332	13.1

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 8,686百万円 (18.7%) 24年2月期第3四半期 7,317百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	63.24	—
24年2月期第3四半期	49.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	317,415	144,642	45.6
24年2月期	303,950	141,424	46.5

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 144,642百万円 24年2月期 141,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	7.50	—	9.00	16.50
25年2月期	—	9.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	442,800	0.2	20,000	1.2	19,600	0.0	10,500	29.3	71.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	149,588,723 株	24年2月期	149,588,723 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	7,016,757 株	24年2月期	2,341,255 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	144,139,088 株	24年2月期3Q	146,996,988 株

(注) 自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
4. 補足情報	9
商品別売上情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初は東日本大震災からの復興需要などにより緩やかな回復傾向が見られましたが、近隣諸国との関係悪化や製造業の業績悪化による雇用不安から、国内需要は低下傾向へと向かっております。また、長引く欧州の債務危機や新興国経済の伸び悩みなど、国内景気の先行きには予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については14店舗、退店については5店舗を実施いたしました。これにより当連結会計期間末日現在の店舗数は515店舗（カーマ133店舗、ダイキ159店舗、ホームマック223店舗）となりました。なお、ホームマックにおいては、震災地域である岩手県内に、多くのお客様からのご要望にお応えすべく、仮設店舗方式により2店舗を新規開店しております。

販売面においては、秋の到来が遅れたことにより9月、10月は秋冬商品の売上が低迷しましたが、11月からの本格的な冷え込みや節電需要により、ポータブル石油ストーブや防寒衣料、防寒手袋、カイロ、除雪用品などの売上が好調に推移しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における営業収益は3,330億4千2百万円（前年同期比98.3%）、営業利益は162億2千3百万円（前年同期比91.2%）、経常利益は161億6千4百万円（前年同期比91.5%）、四半期純利益は91億1千5百万円（前年同期比124.3%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸・エクステリア部門

園芸用品では、4月中旬までは低温などの天候不順により売上が伸び悩みましたが、天候の回復や新規DCMブランド商品の導入に伴い栽培セット、野菜苗、支柱、用土といった家庭菜園用品が好調でした。また、夏の散水用品や雑草対策用品、冬に向けての除雪機早期販売など季節商品の販売が好調でした。その結果、売上高は560億4千3百万円となりました。

② ホームインブルーメント部門

昨年の震災需要の反動により建築資材などの売上が伸び悩みましたが、爆弾低気圧通過など天候不順による需要で釘・針金、波板、雨どいなど屋外作業用品が好調でした。また、防寒用品、すきま断熱用品、雪囲い用品などの販売が好調でした。その結果、売上高は565億9千4百万円となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

カー用品では、カーナビ関連の売上が伸び悩みましたが、芳香剤やカラークッションなどの新規取り組み商品が好調でした。サイクル用品では、震災需要の反動により販売台数全体が減少傾向の中、積極的に取り組んだ「パンクしないタイプ」の自転車好調でした。ペット用品では、犬・猫用の専門食や秋冬用ペット衣料が好調でした。その結果、売上高は500億9百万円となりました。

④ ハウスキーピング部門

昨年の震災需要の反動によりキッチン用品や浴用品などの売上が伸び悩みましたが、日用消耗品においてはコンパクトサイズの濃縮液体洗剤や浴室用防カビ剤などの高付加価値・高単価の商品が好調でした。文具用品では、プリンターインク、OA用紙などの消耗品を中心にパソコン・OA用品が好調でした。食料品では、防災需要としての缶詰やレトルト食品が好調でした。その結果、売上高は907億9千3百万円となりました。

⑤ ホームファニッシング部門

収納用品では、震災需要の反動で売上が伸び悩みましたが、新規企画として取り組んだオフィス家具が好調でした。インテリア用品や寝具では、アルミシート入りコタツふとんやポリエチレンシート入りクッションなど秋冬用の節電を意識した機能付き商品の販売が好調でした。その結果、売上高は255億9千8百万円となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

昨年の地上デジタル関連需要や震災需要の反動が大きく全体として売上が伸び悩みましたが、本格的な冷え込みにより、ポータブル石油ストーブや電気暖房など季節商品の販売が好調でした。また、携帯電話関連商品やマッサージ機など今期取り組みを行った商品も好調でした。その結果、売上高は343億7千9百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は、新規14店舗の出店などにより有形固定資産や年末商戦向けに商品在庫を増加させたことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して134億6千5百万円増加し、3,174億1千5百万円となりました。

負債残高は、季節的要因により買掛金が増加したことや長期運転資金の借入れなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して102億4千7百万円増加し、1,727億7千3百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いや自己株式の取得、四半期純利益の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して32億1千7百万円増加し、1,446億4千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月10日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,470	14,104
受取手形及び売掛金	3,255	5,609
リース投資資産	589	2,512
商品	72,602	78,755
繰延税金資産	2,620	1,574
その他	5,575	5,343
貸倒引当金	△8	△3
流動資産合計	100,105	107,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	146,617	151,777
減価償却累計額	△86,456	△88,479
建物及び構築物（純額）	60,160	63,297
土地	67,570	70,999
リース資産	4,076	4,296
減価償却累計額	△347	△508
リース資産（純額）	3,728	3,787
建設仮勘定	708	650
その他	20,357	22,716
減価償却累計額	△14,542	△16,321
その他（純額）	5,815	6,395
有形固定資産合計	137,983	145,130
無形固定資産		
借地権	5,807	5,848
ソフトウェア	4,748	4,526
その他	196	199
無形固定資産合計	10,752	10,573
投資その他の資産		
投資有価証券	7,514	6,869
敷金及び保証金	42,184	41,850
繰延税金資産	1,343	1,240
長期前払費用	2,699	2,530
その他	1,434	1,384
貸倒引当金	△66	△60
投資その他の資産合計	55,108	53,814
固定資産合計	203,844	209,519
資産合計	303,950	317,415

(単位：百万円)

前連結会計年度
(平成24年2月29日)当第3四半期連結会計期間
(平成24年11月30日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,774	55,930
短期借入金	27,300	27,550
1年内返済予定の長期借入金	20,715	22,531
リース債務	77	90
未払法人税等	4,419	1,815
繰延税金負債	10	1
賞与引当金	4,026	2,503
ポイント引当金	410	420
その他	11,016	12,193
流動負債合計	113,748	123,037
固定負債		
長期借入金	33,950	35,065
リース債務	4,110	4,258
繰延税金負債	411	356
再評価に係る繰延税金負債	219	209
退職給付引当金	454	453
役員退職慰労引当金	23	18
資産除去債務	1,192	1,252
長期預り金	5,657	5,545
負ののれん	63	82
その他	2,694	2,494
固定負債合計	48,776	49,735
負債合計	162,525	172,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	41,603	41,603
利益剰余金	91,920	98,447
自己株式	△956	△3,837
株主資本合計	142,566	146,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	750	352
繰延ヘッジ損益	14	2
土地再評価差額金	△1,906	△1,925
その他の包括利益累計額合計	△1,141	△1,570
純資産合計	141,424	144,642
負債純資産合計	303,950	317,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	335,253	329,002
売上原価	234,483	231,657
売上総利益	100,770	97,345
営業収入		
不動産賃貸収入	3,548	4,039
営業総利益	104,319	101,384
販売費及び一般管理費	86,530	85,160
営業利益	17,788	16,223
営業外収益		
受取利息	199	196
受取配当金	174	241
その他	400	383
営業外収益合計	774	820
営業外費用		
支払利息	759	809
その他	132	70
営業外費用合計	892	880
経常利益	17,670	16,164
特別利益		
固定資産売却益	0	10
貸倒引当金戻入額	198	—
土壌改良費戻入額	131	—
店舗閉鎖損失戻入額	92	—
賃借契約精算金	35	16
その他	3	—
特別利益合計	462	26
特別損失		
固定資産除売却損	129	333
投資有価証券評価損	65	52
減損損失	989	187
店舗閉鎖損失	25	—
出店計画中止損	109	29
災害による損失	3,006	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	697	—
その他	136	2
特別損失合計	5,159	605
税金等調整前四半期純利益	12,973	15,586
法人税、住民税及び事業税	6,049	5,172
法人税等調整額	△407	1,299
法人税等合計	5,641	6,471
少数株主損益調整前四半期純利益	7,332	9,115
四半期純利益	7,332	9,115

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,332	9,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△398
繰延ヘッジ損益	2	△11
土地再評価差額金	—	△18
その他の包括利益合計	△15	△428
四半期包括利益	7,317	8,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,317	8,686
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、平成24年4月10日及び平成24年6月29日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式取得を行いました。これにより、自己株式が3,011百万円増加しております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年3月1日至平成23年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	100,662	86,818	151,155	165	338,802	—	338,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	3	22,035	22,041	△22,041	—
計	100,662	86,822	151,158	22,201	360,843	△22,041	338,802
セグメント利益	5,237	2,612	9,841	4,303	21,994	△4,205	17,788

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△4,205百万円には、セグメント間取引消去△4,314百万円、その他108百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年3月1日至平成24年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	99,321	84,838	148,725	156	333,042	—	333,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	3	32,171	32,177	△32,177	—
計	99,321	84,841	148,728	32,328	365,219	△32,177	333,042
セグメント利益	4,515	2,241	8,991	6,077	21,825	△5,601	16,223

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△5,601百万円には、セグメント間取引消去△5,613百万円、その他11百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	54,191	16.2	56,043	17.0	64,240	14.7
ホームインブルーブメント	56,886	17.0	56,594	17.2	74,265	17.1
ホームレジャー・ペット	51,583	15.4	50,009	15.2	65,779	15.0
ハウスキーピング	93,029	27.7	90,793	27.7	122,376	28.0
ホームファニッシング	26,904	8.0	25,598	7.8	35,389	8.1
ホームエレクトロニクス	40,479	12.1	34,379	10.4	55,710	12.7
その他	12,179	3.6	15,584	4.7	19,375	4.4
合計	335,253	100.0	329,002	100.0	437,138	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材他
ホームインブルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、住宅設備、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他